

市中体連総合大会壮行会 校長講話

令和元年6月7日（金）

市中体連総合大会まで残り1週間です。「勝負は試合前から始まっている」というのが私の持論です。その理由は、良い結果を残すためには、体力や技術のみならず、グラウンドやコートの外でも、人間力を高めることが必要だからです。

その一例が、ロサンゼルス・エンジェルスの大谷翔平選手の高校時代の目標です。大谷選手は、「自分から挨拶をする」、「応援される人間になる」、「本を読む」などの実践が、チームや自分自身の運や人間性を高めることにつながることを高校時代から意識していました。野球の技能だけを追究するのではなく、グラウンドを離れた部分でも目標を明確にし、人間力を高めようと努めてきた結果が、大谷選手の現在の活躍につながっています。そして、現在も彼は、困難を恐れず踏み出す力、自分と異なる文化を持つ人たちと協力できる力、二刀流という新しいプレースタイルにチャレンジする力を身に付けようと努力しています。誰もが大谷選手みたいになれるわけではないけれど、彼が大切にしている見方や考え方、言動から、皆さんは多くのことを学ぶことができるでしょう。今からでも遅くはありません。自分自身、そしてチームを、クラスや学校全体をよりよく変えるためのチャレンジを始めてください。



さて、中体連では対戦相手も必死です。簡単には勝てませんし、最後まで何が起こるか分かりません。だからこそ、「あおいくま」の気持ち（あきらめず、おこらず、いばらず、くさらず、まけず）を忘れずに闘ってください。健闘を祈ります。